

意外と知らないめまいの検査



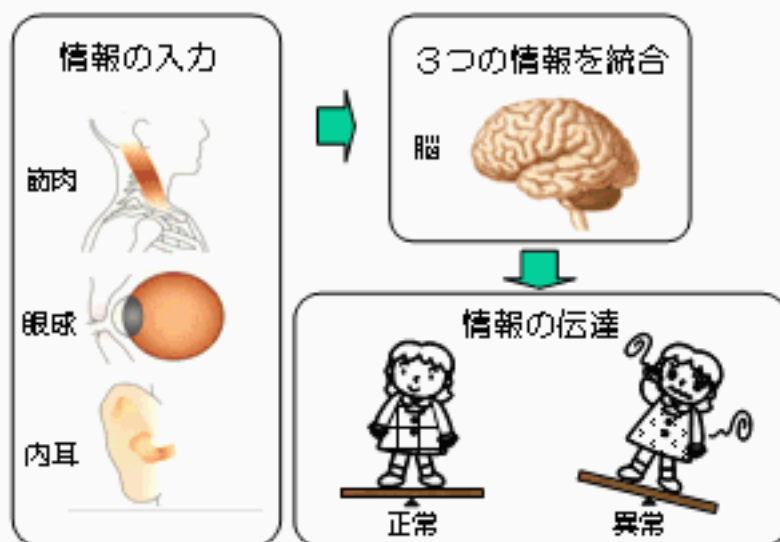
現代病と言えば『めまい』と言われるほど、近年『めまい』を訴える方が増加しています。原因としては、多忙な仕事、家庭の悩みなどによるストレスも重要な要素になっていますが、多くの原因は耳(内耳)の病気です。他にも脳の病気など複雑に絡み合っている場合が多いので、各種検査が必要になります。

めまいの原因

めまいは、体のバランス(平衡:へいこう)をとる仕組みに異常が生じたとき、起こります。体のバランスは、耳(内耳)・眼・手足の関節や筋肉にある位置感覚などの情報が脳に送られ、それらの情報を統合して正常に保たれています。

もしこのどれかの具合が悪くなるとバランスがくずれ、めまいが起こります。

●体のバランスを支える仕組み

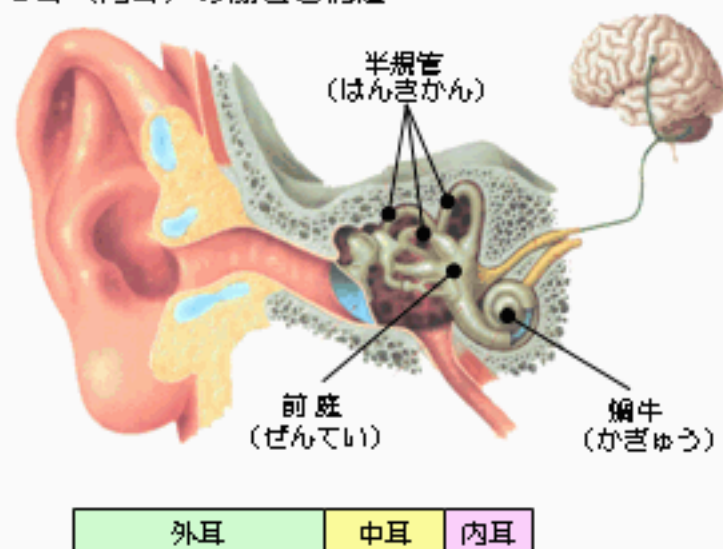


めまいと耳の関係

めまいの原因のうちかなり多くのものが耳(内耳)の病気です。内耳には「体のバランスをとる働き」をする半規管及び前庭(耳石器:じせきき)と「音を聴く働き」をする蝸牛から成り立っています。

これらは一つの管でつながっていてそのため内耳の病気でめまいが起こっている場合、しばしば聞こえにも変化が現れます。

●耳(内耳)の働きと構造



※このように、めまいには色々な原因があります。そのため当院ではめまいの程度や原因を調べる各種検査を行っています。

検査でわかる、めまいの程度と原因

これらの検査は主に当院で行っている検査ですが、全ての検査を全ての患者さんに行っているわけではなく、その人のめまいの種類や状態によって選んで行っています。

※当院では検査を受けたその日に、検査結果の説明があります。

体のバランスを調べる検査



重心動揺検査

患者さんの揺れを検出する台の上に目を開けた状態と閉じた状態でそれぞれ1分間ずつ立ってもらい、体の平衡状態を調べます。脳と内耳のどちらに病変の疑いがあるかを調べます。

びんしん

眼振の検査（眼球の動きをみる検査）

※眼振～めまいが起きた時などに現れる眼球の乱れた動き。

これによりめまいの程度や耳や脳の、どの部位にどのような病変の疑いがあるかを調べます。

静止目標注視の検査



注視眼振検査

正面・右・左・上・下の位置をジューッと見た時に異常な眼球の揺れや動き（眼振）があるかどうかを調べます。

赤外線による眼振の検査



非注視眼振検査

赤外線装置を使い、眼球の状態を後方のTV画面に映し出し眼振があるかどうかを調べます。この他にもベッドでおおむけになったり、寝たり起きたりをした時も調べます。

聞こえの検査



純音聴力検査

耳に受話器をあていろいろな高さ（周波数）の音の聞こえを調べます。どのくらい小さな音が聞こえるか、難聴があるかどうかを調べます。

※耳（内耳）の病気がめまいや平衡障害を引き起こしている場合は、耳鳴りや難聴を併発することが少なくありません。そのため、めまいや平衡障害の原因を突き止めるうえで、聞こえの検査は診断の重要なポイントになります。また、画像検査（CTなど）も必要に応じて行われます。

電気眼振図検査（眼球の動きを詳しくみる検査）

温度刺激による眼振の検査



温度眼振検査

片耳に少量の水を注入すると、内耳の半規管が刺激されて眼振がおきます。

この眼振の続いている時間や眼振の速度から半規管の機能がどのくらい保たれているかを調べます。

電極を貼ったところ

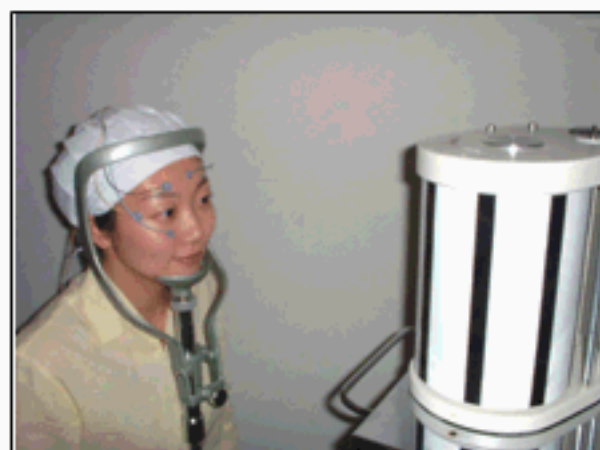


電気眼振計

眼のまわりの上下・左右に電極を貼り、眼球の動きを精密に電気眼振計に記録します。

電気眼振計は「温度眼振検査」「視標追跡運動検査」「視運動性眼振検査」の際などの眼球の動きの記録に使用されます。

動く物を見るとき検査



視運動性眼振検査

黒い線が描かれた筒が目の前で回転します。顔を動かさないように正面に来る線を次々に見てもらい、眼球が素早く動くかを調べます。主に脳幹などの中枢機能を調べます。

運動目標注視の検査



視標追跡運動検査

パネル上の白い点が左右に往復します。顔を動かさないように眼だけで点を追ってもらい、眼球がなめらかに動くかを調べます。

主に小脳などの中枢機能を調べます。

～めまいおまけ情報～

めまいの基本的な治療には、内服・点滴などありますが、めまいには薬を服用する以外にも、それぞれのめまいの状態に合わせて様々な治療法があります。

生活指導

下記のようなことに注意して日常生活を送りましょう。

- ・睡眠と休養を十分にとる
- ・ストレスをできる限り避ける
- ・タバコは本数を減らすか禁煙する
- ・規則正しい食事をする
- ・飲酒を控えめにする

運動療法（めまいのリハビリテーション）

当院では、必要に応じて運動療法を行っています。
めまいに慣れてもらい、めまいを起こしている器官の機能を徐々に安定させ、症状の回復をはかります。



■参考文献・資料

坂田英治、坂田英明（著者）：めまいを治す本 マキノ出版（発行所）

大都京子、遠藤まゆみ（著者）：めまい・平衡障害・ENG検査図譜—もっとやりがいのある検査を志す人々のために— デジタルプレス（発行所）

耳鼻咽喉科はみみ・はな・のどの専門ですが、その疾患はめまい、耳鳴り、顔面神経麻痺、難聴、鼻疾患、いびき、甲状腺疾患など多岐にわたっています。

それぞれの疾患についてお聞きになりたいことがあれば、ご遠慮なく診察時にお話ください。



医療法人
耳鼻咽喉科 麻生病院

札幌市中央区北5条西1丁目1-7
TEL 011(724)4122
FAX 011(724)4986

年中無休

	月～金曜日	土・日・祝日
午前	9:00～12:00	9:00～12:00
午後	13:30～18:30	13:30～18:30
夜間	18:00～20:00	休診



医療法人
耳鼻咽喉科 麻生北見病院

北見市二條54-8
TEL 0157(22)4122
FAX 0157(22)2128

年中無休

	月～金曜日	土・日・祝日
午前	9:00～12:00	9:00～12:00
午後	13:30～18:30	13:30～18:30
夜間	18:00～19:00	休診



医療法人
耳鼻咽喉科 麻生28

札幌市中央区北5条西2丁目2-3
メヂックビル4階
TEL 011(64)4122
FAX 011(64)4155

日・祝休診

	月～土曜日	日曜・祝日
午前	9:00～12:00	休診
午後	14:30～18:00	



ホームページアドレス：<http://www.jibiazabu.or.jp>

